

【消化器内科】

ピロリ菌の感染経路は？

国吉病院

院長 国吉 宣俊 さん

ピロリ菌と胃がんとの関連は重要で、ピロリ菌感染予防ができると胃がんは激減すると考えられます。感染経路を明らかにし、新たな感染を断つことが将来的に胃がんをゼロにする上で非常に重要となるわけです。菌垢や唾液、糞便からピロリ菌の菌体やDNAが検出されることが明らかになっています。ピロリ菌は主に口から口を介して、あるいは糞か

ら口の経路で人から人へと感染すると想定されています。現在日本では主に口から口を介した感染が多いとされ、特に家庭内感染が多いとされています。しかし夫婦間感染はまれで、親子感染、同胞感染が多いとされています。ピロリ菌に感染している両親、特に感染した母親から出生した小児への感染率が高く、また母親と小児の菌株が一致する場合は多



く、母子感染の可能性が示唆されています。しかしながらピロリ菌自身は感染力の弱い菌であり、感染唾液と接触したからといってすぐに感染することはなく、母親と小児の関係のように長期的に及ぶ密接な接触の結果、感染が成立すると考えられています。

医療法人三和会 国吉病院

高知市上町1-3-4

☎088-875-0231

【診療時間】

午前9:00～正午

午後2:00～午後5:00

※土曜日は午前診療のみ

【休診日】土曜日午後・日曜日・祝日

※急患は時間外でも診療いたします

【診療科目】

消化器内科・循環器内科・

消化器外科・緩和ケア内科・

整形外科・内科(ペインクリニック) 他